

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 03080867
PUBLICATION DATE : 05-04-91

APPLICATION DATE : 24-08-89
APPLICATION NUMBER : 01216065

APPLICANT : TAIYO CHEM KK;

INVENTOR : SEKIYA TADAYOSHI;

INT.CL. : A61L 9/12 A61K 7/32 A61L 9/01

TITLE : DEODORIZING MATERIAL

ABSTRACT : PURPOSE: To surely prevent the dissipation and filling of malodors by constituting the deodorizing material of a sheet which is impregnated with a cyclodextrin clathrate compd. including a deodorant and/or aromatic agent or is coated therewith on the surface.

CONSTITUTION: This deodorizing material is constituted of the sheet which is impregnated with the cyclodextrin clathrate compd. including the deodorant and/or aromatic agent or is coated therewith on the surface or a small bag in which the powder of the cyclodextrin clathrate compd. including the deodorant and/or aromatic agent is packaged. The cyclodextrin may be α -, β -, γ -alone and usually a mixture composed thereof (more particularly, a mixture thereof contg. saccharides, such as dextrin) is used. Tea extracts and plant extracts are usable as the deodorant. Phytontit, strawberries, oranges, lavender, etc., are generally used as the aromatic agent. A non-woven fabric is advantageous in terms of cost as the sheet.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁(JP) ⑪ 特許出願公開
⑫ 公開特許公報(A) 平3-80867

⑬ Int. Cl.³ 識別記号 庁内整理番号 ⑭ 公開 平成3年(1991)4月5日
A 61 L 9/12 6737-4C
A 61 K 7/32 7252-4C
A 61 L 9/01 V 6737-4C
審査請求 未請求 請求項の数 9 (全4頁)

⑮ 発明の名称 消臭材

⑯ 特 願 平1-216065
⑰ 出 願 平1(1989)8月24日

⑱ 発 明 者 関 矢 忠 良 千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷1丁目7番18号-203
⑲ 出 願 人 太陽ケミカル株式会社 東京都千代田区内幸町2丁目1番1号
⑳ 代 理 人 弁理士 今野 耕哉

明 糸田 香

1 発明の名称

消臭材

2 特許請求の範囲

- (1) 消臭剤または／及び芳香剤を包接したサイクロデキストリン包接化合物が含ま、または表面にコーティングしているシートから構成したことを特徴とする消臭材。
- (2) 消臭剤が植物繊維消臭剤である特許請求の範囲第1項記載の消臭材。
- (3) シートが不織布である特許請求の範囲第1項記載の消臭材。
- (4) シートが浴衣、着物等の和服形状に加工されている特許請求の範囲第1項、または第3項記載の消臭材。
- (5) 消臭剤または／及び芳香剤を包接したサイクロデキストリン包接化合物の粉末を小袋に充填してシールしたことを特徴とする消臭材。
- (6) 消臭剤が植物繊維消臭剤である特許請求の

範囲第5項記載の消臭材。

(7) 小袋が、紙製の袋により形成されている特許請求の範囲第5項記載の消臭材。

(8) 小袋が、水溶性の紙の小袋である特許請求の範囲第7項記載の消臭材。

(9) 小袋が、不織布により形成されている特許請求の範囲第5項記載の消臭材。

3 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

この発明は、長期間貯蔵しても消臭効果が減少しないようにした(持続するようにした)消臭材に関するものである。

更に詳しくは、①通体用、病院用、老人用等のシート、和服等の形状をした消臭材、②人の体温、汗等によって機能する(作用を開始する)紙袋入り消臭材、③水洗便器に投入することによって機能(作用)し、そのまま水で流すことができるようにした水溶紙袋入り消臭材等に関するものである。

<従来の技術と発明が解決しようとする問題点>

遺体は腐敗して悪臭を発生し易いので、死亡時から火葬または埋葬時までの期間（特に夏季）、ドライアイスを用いて冷却したり、消臭剤、芳香剤等を散布することにより、悪臭の発生を防止し、またマスキングすることが行われている。また、長期間床に臥せる病人（老人）の悪臭を除去するために病院等においては同様な処置が採られている。しかしながら、消臭剤、芳香剤等を頻繁に散布するのは煩雑であると共に、外見上も好ましいものではない。

また人の体臭は、時と場所（演員電車内等）によっては、周囲に極度の不快感を与えるので、消臭を必要とするものであるが、いまだ適当な消臭材は開発されていない。

更に、水洗便所の悪臭の除去に関しても、従来から種々の方法、薬剤等が試みられているが未だ完全なものはない。

<問題を解決するための手段>

本願発明は、前記した問題点を解消するためになされたもので、次の(1)～(9)の請求項か

ら構成されている。

(1) 消臭剤または／及び芳香剤を包接したサイクロデキストリン包接化合物が含浸、または表面にコーティングしているシートから構成したことを特徴とする消臭材。

(2) 消臭剤が植物繊維消臭剤である特許請求の範囲第1項記載の消臭材。

(3) シートが不織布である特許請求の範囲第1項記載の消臭材。

(4) シートが浴衣、着物等の和服形状に加工されている特許請求の範囲第1項、または第3項記載の消臭材。

(5) 消臭剤または／及び芳香剤を包接したサイクロデキストリン包接化合物の粉末を小袋に充填してシールしたことを特徴とする消臭材。

(6) 消臭剤が植物繊維消臭剤である特許請求の範囲第5項記載の消臭材。

(7) 小袋が、紙製の袋により形成されている特許請求の範囲第5項記載の消臭材。

(8) 小袋が、水溶性の紙の小袋である特許請求

の範囲第7項記載の消臭材。

(9) 小袋が、不織布により形成されている特許請求の範囲第5項記載の消臭材。

本願発明の消臭材は、消臭剤または／及び芳香剤を包接したサイクロデキストリン包接化合物が含浸または表面にコーティングしてあるシート、または消臭剤または／及び芳香剤を包接したサイクロデキストリン包接化合物の粉末が包装されている小袋から構成されている。

本願の消臭材に使用する消臭剤、芳香剤等として、消臭剤、芳香剤等を包接したサイクロデキストリン包接化合物を使用する理由は、単に消臭剤、芳香剤等をそのまま使用したのでは、これらの薬剤の効果が極めて短期間に消失してしまい、実用性に欠けるからである（例えば、シート製造時、または小袋に充填・包装時には、これらの薬剤の効果が顕著であっても、これを実際に使用する時までに、これらの薬剤は揮散してしまい効果が消失してしまっている。）。

本願発明の消臭材に使用するサイクロデキスト

リンは、 α 、 β 、 γ 単独でもよいが、通常はこれらの混合物（特にこれらの混合物にデキストリン等の糖質を含有したもの）が使用される。また、サイクロデキストリンとしては、分岐サイクロデキストリン（マルチルサイクロデキストリン）等でもよい。

消臭剤としては、茶抽出物（食品と開発 Vol. 22, No. 4 1987, p. 134）、植物抽出物（日本農芸化学会誌 Vol. 33, No. 6 1985, p. 385）等を主成分とした通常の市販の消臭剤（例えば、商品名 デスマー、奥野製薬製）が使用できる。

芳香剤としては、フィトンチット、ストロベリー、オレンジ、ラベンダー等が汎用される。

本願発明に使用するシートとしては、材質を問わないが、不織布がコストの点で有利である。

本願発明に使用する小袋の材質は、通気性と適度の強度があればその種類を問わないが、布としては不織布が経済的に有利である。ただし、水溶性の紙に包装したものは、水洗便所に投入してそ

特開平3-80867 (3)

のまま流せるものであるから特別な用途がある（請求項8）。

次に本願発明に係る消臭材に付いて請求項順に説明する。

請求項（1）：

本請求項のシートの製造方法を工程順に説明すると次の通りである。

（イ）サイクロデキストリン、水、消臭剤または／及び芳香剤を混合し攪拌する。

使用する水の量は、攪拌に支障を来たさない程度の最小量を使用する。

攪拌時間は、通常数時間以上を必要とする。

これらの粉末を定法により乾燥して粉末とする。

（ロ）上記粉末に界面活性剤、金属石鹸、ウレタン系樹脂、エポキシ系樹脂等を添加後水を加え十分攪拌し、均一な化合物を作る。

（ハ）サイズプレス法等を用いて、乳化物を不織布等に含浸させる（通常、ニップ圧 23 kg/cm、不織布スピード 40 m/分）。

剤を包接したサイクロデキストリン包接化合物の粉末を定法により作製し、この粉末を小袋（5×5×2 cm、材質は特に限定しない）に充填してシールすることにより製造される。

本請求項の消臭材の用途は、主として人の体臭の消臭である（ただし、水溶性の材質を使用した場合を除く。）。すなわちこの消臭材は、人体に密着させておくことにより、体温が上昇し、発汗した時等に、消臭剤等が自然に包接化合物から遊離して効力を発揮するものである。

請求項（6）：

本請求項は、前記請求項（2）の記載と同様な趣旨である。

請求項（7）：

本請求項は、小袋の材質として使い捨てに好適である紙を使用することを明記したもので有る。

請求項（8）：

本請求項は、小袋の材質として水溶性の紙を使用する。その理由は、水洗便所の消臭に好適であるからである。すなわち、本消臭剤を便器に投入

その後シリンドラードライヤー等を用いて乾燥する（乾燥温度 115℃、不織布スピード 1 m/分）。

上記シートは、主として、遺体用、病院用、老人用で有り、シーツ、上掛け、浴衣等の着物等の任意の形状に加工して使用することができる。

請求項（2）：

本請求項は、最適な消臭剤を記載したもので有る。更に具体的な消臭剤の例は前記した通りで有る。

請求項（3）：

本請求項は、シートの材質を例示したもので有る。不織布はコストが易い点で好適な材質で有る。

請求項（4）：

本請求項は、シートを浴衣、着物等の和服形状に加工して使用することが好ましいのでその例を示したもので有る。

請求項（5）：

本請求項の消臭材は、消臭剤または／及び芳香

すれば、袋を形成している水浴紙が解けて、サイクロデキストリン包接化合物の粉末は、水と接触する。すると直ちに包接化合物（消臭剤、芳香剤等）を遊離され、消臭力が発揮されることとなる。

更に具体的に、水溶性、分散性の良い水浴紙としては、ディゾルボ（三島製紙御製）が挙げられる。

請求項（9）：

本請求項は、布製の小袋の材質として不織布がコストの点から好ましいために明示したものである。

< 発明の効果 >

本発明に係る消臭材は、以上の様に構成したから、製造後時間が経過しても、下記のような特有の効果をも有する。

（1）本願発明に係るシート等を使用して遺体を包装すれば、確実に悪臭を中和、分解反応で消臭し、またマスキングすることができるので、悪臭の発散充満を確実に防止することができ安心して

特開平3-80867(4)

評價を行うことができるという効果を有する。

更に退体に限らず、病人、老人等に使用すれば、病室から不快臭を除去することができるという効果を有する。

(2) 小袋に入れた消臭剤を身に着ければ、実際に消臭を必要とする時に体臭を除去(消去)することができる。

(3) 特に水溶紙を使用した消臭剤を使用すれば、水洗便所の悪臭を除去することができる。

代理人 今 野 耕 哉